

## スーパーオキシド消去活性

生体内にも存在するラジカルであるスーパーオキシドラジカルに対する消去能を調べます。

### 試験方法

試料の抽出にはリン酸緩衝液を用います。試験管内でヒポキサンチンとキサンチンオキシダーゼを反応させ、スーパーオキシドラジカルを発生させます。発生させたスーパーオキシドラジカルをスピントラップ剤で捕捉し電子スピン共鳴装置(ESR)で直接測定致します。抗酸化力はスーパーオキシドディスムターゼ活性に換算して算出致します。単位は J.M.McCord 及び I.Fridovich が定義した単位を用います。

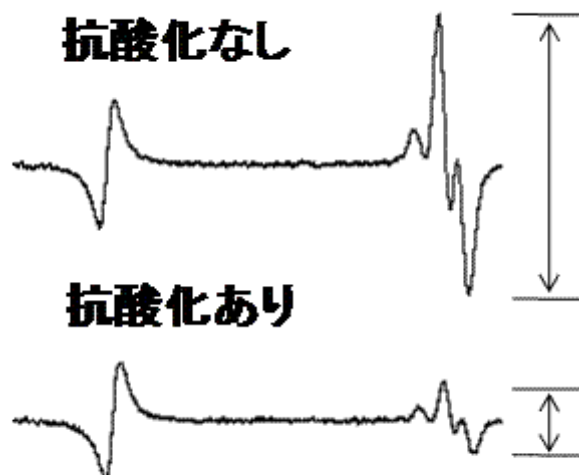


図-1 ESR のシグナル

### 検体必要量

必要量：約 20 g (20 g 未満の場合はお問い合わせください。)

### 注意点など

リン酸緩衝液で抽出を行うため、脂溶性成分の抗酸化力は評価できない場合がございます。トマトのリコピンやニンジンのβカロテンのようなカロテノイド類由来の抗酸化力の評価はできません。

試験設計など、詳細につきましてもお気軽にご相談ください。